

# ・クロヌマタカトシの木彫

2018年

10月20日.土 — 10月28日.日

作家在廊日 20日・28日

定休日 24日.水 OPEN 11:00 — 18:00



うつわ 菜の花

・僕がクロヌマさんの彫刻に出会ったのは、長年企画している匙屋さんのお店でした。クロヌマさんは、8年前に用で歩いていて、「匙屋」の看板を見かけて入り、その姿勢に感銘を受け、自分でも匙を作ってみようと思ったそうです。

ところで、匙をずっと作っていると、作業になってしまい、これではいけないと彫ってみたら、何故かお爺さんの姿が現れ出てきたといいます。すると、匙屋さんが「これで展示会をやりましょう。他にも動物とか作ってみたら？」と言ってくれたのがきっかけになっているというから、面白い。

工房は二カ月かけて、何軒か並ぶ借家の一軒が、まさにクロヌマさんの工房に生まれ変わった空間である。置いてあるのは、ヨーロッパで入手した古い動物の角付きの骨、ドライフラワーなど。自然が作り出した造形、時間が経ったモノ。

僕が訪ねると、木の根に挑んで、牛頭へとノミを振るっているところだった。

「牛は無骨さや強さを持ち、人間とは親和的でありながら、どこか神聖さを併せ持っています。木の根や流木の製作は、思い通りにはいかないが、自然と対峙して自分と自然の交叉する処を見つけて行く。。。リアルさも必要だが、すごくリアルに創りたい訳ではなく、そこに、野性味や力強さなど出したい。製作の中で、それまでの価値感を揺さぶられ、新たな価値観で世界を見なさいと言われていたような気がします。」

と言う。そして、見る人も、好き嫌いというような価値感から、もう一度フラットに見る価値観へと、変えられるものが創れたらいいなと、思っているようだ。

僕もDM用に大きな白鳥が1つ届いた時にはびっくりしたが、実際にすると骨太な存在感があった。それと対比的な、製作中の牛も、どうものにしていくのか、楽しみである。

尚、今回の展示台も、クロヌマさんが製作された台で、いっそう彼独特の空間が味わえると思う。

2018年10月8日 菜の花・高橋台一

クロヌマタカトシ プロフィール

1985 神奈川県に生まれる

2008 建築の仕事に携わる

2010 木彫での制作を始める

2011 初個展(匙屋) 以降各地にて個展

2015 パリにて個展(Galerie plan te rouge)

2017 厚木に工房を構える

2018 パリにて個展(galerie metanoia)



うつわ 菜の花  
小田原市南町1-3-12  
電話 0465-24-7020

小田原駅東口より箱根方面へ  
向かうバス利用  
[箱根口]バス停下車徒歩2分  
セブンイレブン向かい側

